



農業×ANY=HAPPY



m2Labo.
AGRI INNOVATION

m²
Solution.

課題解決から、事業創造会社へ



アグリテック

Mobile Mover



Mobile Mover
屋外用ロボット台車



フードウォール
どこでも栽培/販売

デザイン



UI/UX
サービスデザイン
ITシステム開発
WEBデザイン



2D/3Dデザイン

創出事業

流通



やさいバス (株)
地域OS

人材育成



Glocal Design School (株)
起業家育プログラム

生産



ベジラボ
ニラ



ニンジャトンネル
超低コストハウス

誰もが“おいしい”食にアクセスできる社会を目指して



EC+共同配送を一体型としてシステムをコミュニティと共に地域実装していきます。



・HAKUHODO・A-FIVE

特許取得済

DXでCN対策、フードロス削減に挑戦中

瀬戸内レモン

100円 (税込)



35 km

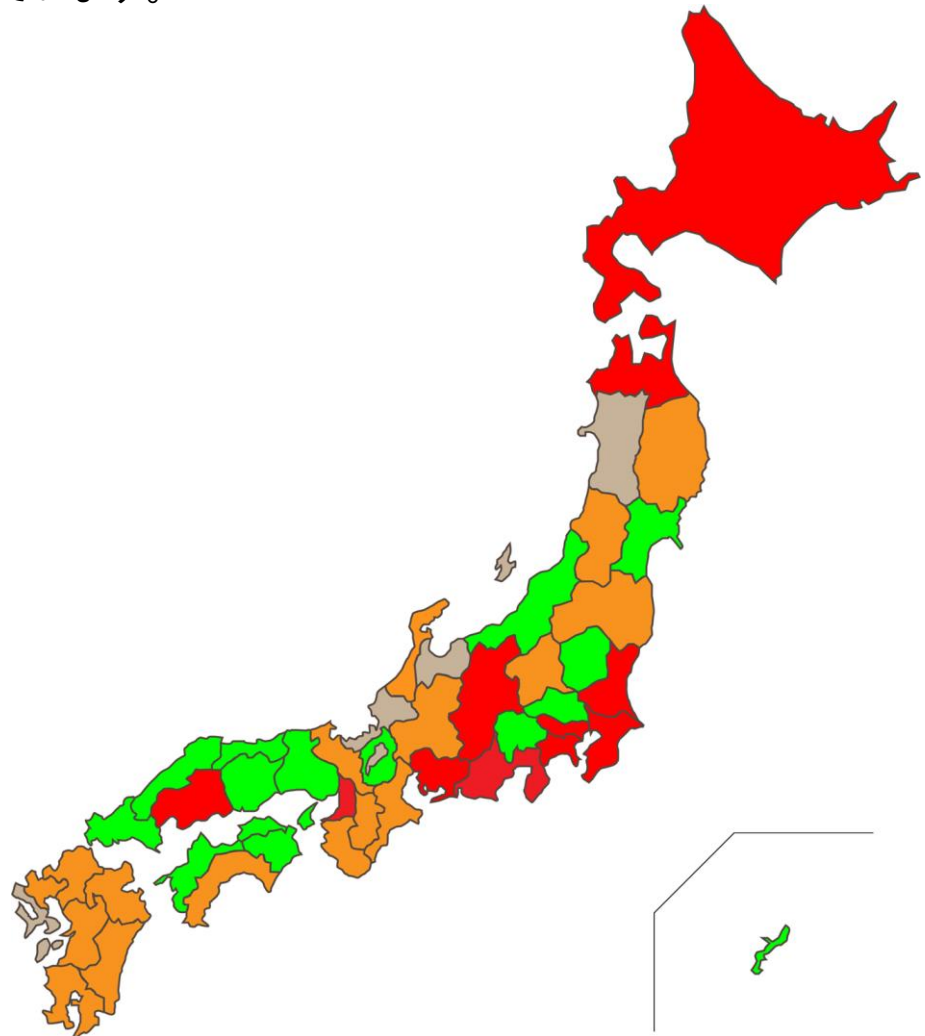
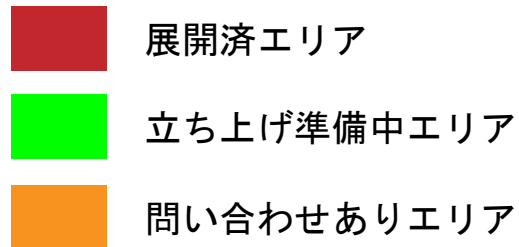


誰もが”美味しい”を手に入れらる社会を目指して

ラベルの「運搬距離」は、出荷者の最寄のバス停から、ここまでの距離を示しています。できる限り地域の、近くの生産者に
出品いただくことで **CO2削減** に貢献していきます。

やさいバス展開地域

コロナの影響で、「地域内循環」への回帰が進んでおり、全国各地よりお問合せをいただいています。



市場DX

**市場が公設でなくなることは、学校がすべて私立になるようなこと。
公設市場は「誰もがおいしい食を手に入れられる社会をめざす」ために必須です。**

■公設市場の役割

命を預かる食の需給調整弁としての市場は、①物流センター ②金融 ③情報センター 機能から構成されます。旧態依然の市場では、③の機能が仕組化しておらず、人材難、“公平な分配”という主たる役割を果たせなくなっていることが、市場の弱体化の主要因です。市民の食を守るためにも、旧態依然とした運営体制の構造改革が必須です。

■情報センター機能

静岡中央卸売市場の立地は、新東名、中部横断道、そして、近接する清水港の戦略港化という好立地。“情報センター”としての機能を構築し、物流としては山梨、長野、新潟の縦ラインと連携した構造改革をしていきます。

■市民と共創

行政、市場関係者だけが改革するのではなく、市民も一緒に「食」について語り、カイゼンしていくチームづくりをしていきます。

ロボットだってCommunityで



×



×

Community

SmartCommunityのOS

農は社会基盤産業
ゆえに、コミュニティづくりの基礎に必須です。

無理なく

かね、時間、気持ちに無理なく

楽しく

日常をわくわくしながら

おいしく

安全でおいしい食をつくり、手に入れ食す

①DXは課題共有から

課題を共有できる安全な場所が必要

『場』に対してサポートを！
スーパーマンがいるだけは好事例ではなく、
各地域や各課題を共有できる安全な場
がつかれるかがポイント。首長の理解
と行動は必須。

例) やさいバス
“生鮮物流”という共通課題を掲げ、チ
ームアップ

課題の解決手順

具体的な課題を設定



解決の仮説を構築



仮説を実行するチームづくり



仮説を実証しながら確度を向上



目的・目標を明確にし、PDCA

②生活を中心としたデザインが大事

コミュニティベースド

政府・地域行政・大企業が先導しては上手くいかない。

なぜか？

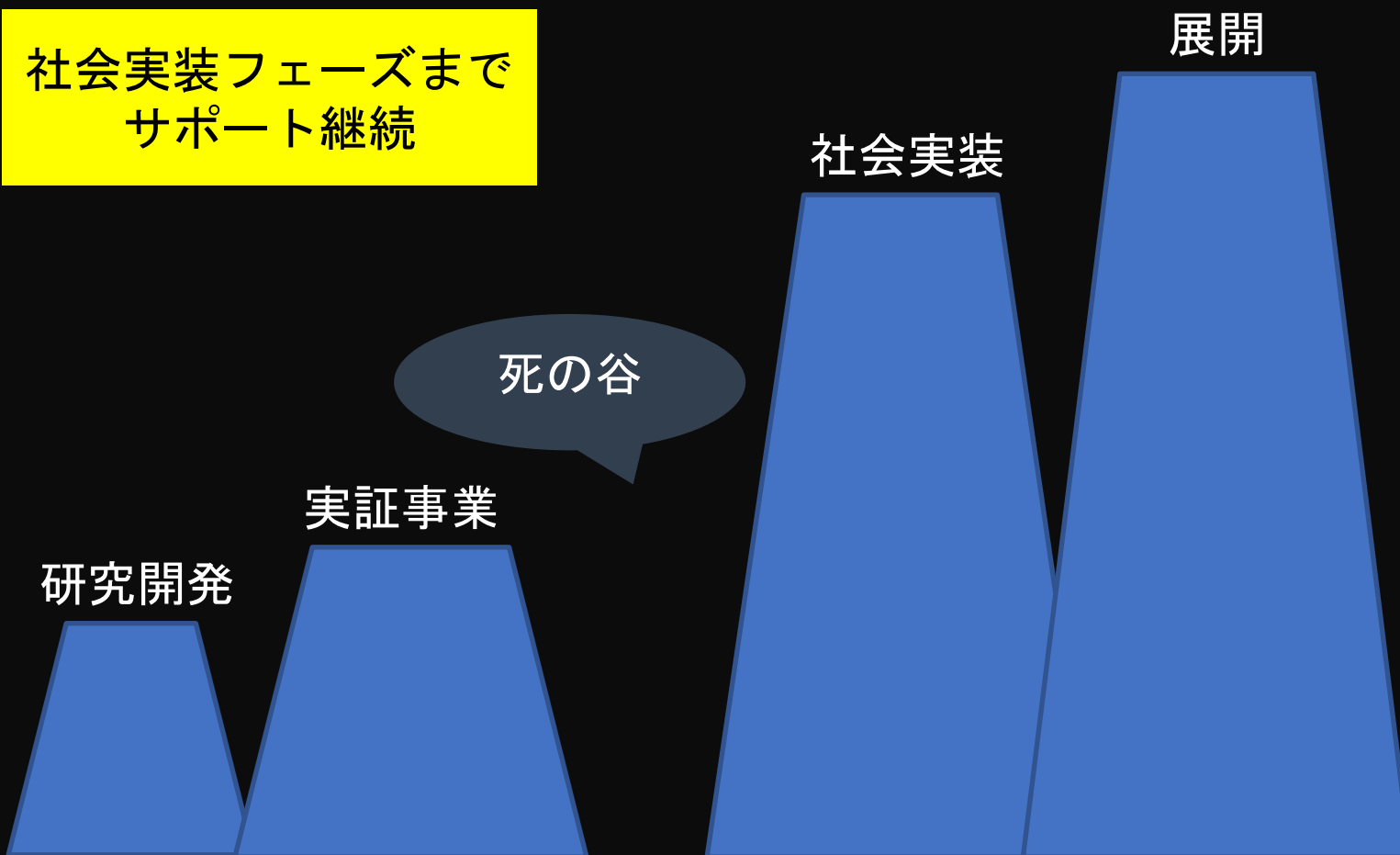
組織の性質上、生活は常に変化しているにもかかわらず、その時の答えを用意してしまう。

そして、技術の進化で、つくる人とつかう人の罅はあいまいになっており、

個人やコミュニティに委任し、サポートすべき。

③サポートは社会実装まで

社会実装フェーズまで
サポート継続



社会課題解決型事業 死の谷を越えるポイント

- 1) 資金の出どころ 政府→民間へと徐々に、越えるまで
- 2) 時間＝仕事の考え方では越えられない
- 3) 課題の芯＝共感者が多いか